熊本県歯科医師会
Kumamoto Dental Association

～健康長寿は歯から～
～健口から健幸へ～

熊歯会報

No.810
December 2023
12

CONTENTS

●巻頭言（常務理事　長野 靖弘）……3
●理事会報告……4
●委員会報告（医療対策、厚生・医療管理）……6
●郡市会報告（天草郡市、上益城郡、玉名郡市）…10
●九地連報告……12
●報告（表彰）……17
●リレー投稿㉞……18
●会務報告……19

― 歯科医師の倫理綱領 ―

われわれ歯科医師は、日頃より歯科医学および歯科医療の研鑽を通じて培った知識や技術をもって、人々の健康の回復と疾病の予防のために貢献するものである。

一、専門職として歯科医学と歯科医療の発展のために尽くし、医療倫理の実践に務める。

一、専門職であることを念頭に、法を遵守し適切な説明を行い、常に愛情を持って患者のために社会的使命を果たすように努める。

一、自己の知識、技術、経験を社会のために提供し、社会福祉および国民の健康向上のために努める。

公益社団法人　日本歯科医師会

表紙に寄せて

熊本市の上通びぷれす広場において笑顔ヘルCキャンペーンが開催された。歯科相談、歯磨き指導、熊本歯科衛生士専門学院の紹介、笑顔ヘルC写真コンクールの作品展示、歯と口の健康に関する図画・ポスター、習字コンクール、歯・口の健康啓発標語コンクールの作品展示、受賞者の表彰式などが行われた。熊本県民のお口の健康運動を目的としたイベントで、当日たくさんの来場者が訪れ大成功であった。　（T・H）

地域包括ケアシステムにおける歯科の役割

常務理事　長野 靖弘

地域包括ケア担当として、２期目の常務理事を拝命致しました。後期高齢、認知症、介護、在宅、回復期医療連携等を担当します。今期も宜しくお願い致します。

地域包括ケアシステムは、要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を続ける事ができるよう地域内で助けあう体制、地域の実情に合った医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される体制を目指します。大きな柱は在宅医療で、国は医療費削減に向け入院から在宅へと体制整備を進めるも遅れています。

歯科で在宅には外来と同じ数の患者が潜在すると言われますが、訪問歯科診療をしているのは２割程。提供する側、受ける側、繋ぐ側でこのシステムでの歯科の認知不足のように思われます。一方在宅医療連携体制協議会等では、多職種の方の在宅医療での歯科の重要性の十分な理解を感じます。

これまで訪問歯科診療の拡充と地域差の対応を行ってきました。（在宅歯科医療研修会、医療・介護関係者との情報共有・連携強化、地域歯科医師会との連携、モデル地域活動、訪問歯科診療に関する普及啓発、在宅歯科診療器材の補助等）

加えて歯科歯科連携（訪問歯科連携）、これは、かかりつけ歯科医が訪問歯科診療の依頼を受けた時、内容により自院で困難な場合の紹介先や将来自院でできるようなシステムを構築する事で、在宅歯科医療の推進を行うと共に、結果、施設基準をクリアする事によるかかりつけ歯科医機能強化型診療所の増加を図る、というものです。しかし、訪問診療の依頼がないという状況が起きました。

「在宅歯科医療の依頼が少ないのは、ニーズが少ないのではなく、地域の中での歯科への理解不足や専門職同士の顔の見える関係の構築が進んでいないから。今後とも行政と共に考えていかなければならない課題である。（在宅歯科医療　現状とその問題点　三木次郎）」

そんな折、長崎の角町先生から日本老年歯科医学会の九州老年歯科フォーラムの熊本県歯科医師会での主催依頼がありました。

先生は、長年訪問診療に携わり、訪問診療は、「食べる事」を支援する「歯科の総合臨床」、要介護高齢者等に寄り添う「生活の医療」、訪問診療に対応できる診療体制を作る事の必要性、在宅医療の現場における「地域のネットワーク構築」の大切さを説き、地域包括ケアシステムに対応できるような環境整備が急務と言われます。このフォーラムは「地域包括ケアにおける歯科の役割」～在宅と病院をつなぎ、生活を支える歯科訪問診療～として、令和６年２月４日に開催予定です。川越正平先生（医科）、米山武義先生（歯科）の講演と「地域包括ケアにおいて歯科に求めるもの」の多職種のシンポジウムです。

地域包括ケアシステムにおける歯科の認知度を上げると共に、熊本県内における歯科自体の行動変容に繋がれば、そして、地域の中で多職種協働がスムースに展開できる仕組みを、地域包括ケアシステムのなかで作り上げていければと思います。

理事会報告

目的を持って事業計画を

― 第６回理事会 ―

10月23日（月）午後７時30分より県歯会館において伊藤会長他全役員、増田・水上監事、東学院長出席のもと開催された。

１　開会：椿副会長

２　挨拶：伊藤会長

来年度予算を決めていく時期です。しっかりと計画を立てて実行していただければと思います。

さて、FDIでオーストラリアに行ってきました。FDIの学会は会員からは何をしているか分からない部分が多いと思います。髙橋執行部ではFDIの活動報告をしていきたいと思います。世界各国との会議では、オーストラリア、ニュージーランド、フランス、ドイツ、アメリカ、韓国、台湾、香港、トルコの先生方と話しをしてきました。そこで上がった問題は、我々が悩んでいることと同じでした。歯科衛生士不足、韓国は６ヵ月募集しても応募が無いという悩みもありました。また、地域偏在の問題、都市部では若い人が増えてますが、地方では人が集まらない問題もありました。高齢化の問題についても各国より日本を参考にしたいとの意見もありました。来年はトルコで開催されます。集めた情報を会員へ伝えていければと思います。

来年度の事業計画について、目的を持って「～のために」で立てて下さい。「県民のために」、「会員のために」目的を持って事業計画、予算を立ていただければと思います。

３　議長選出：伊藤会長

４　議事録署名人：
増田・水上監事、伊藤会長

５　会務報告：（自：9月22日～至：10月19日）

本会総務：第44回全国歯科保健大会（秋田）、第１回各郡市会長・専務理事連絡会議、理事会、常務理事会

学　　術：九州各県学術担当者会、学術委員会

社会保険：九州各県社保担当者会、（Web）社会保険委員会

地域保健学校歯科：地域保健学校歯科委員会

地域包括ケア：第15回県医療・保健・福祉連携学会

広　　報：『熊歯会報』10月号・11月号の校正

医療対策：医療相談・苦情事例報告

厚生・医療管理：（Web）歯科衛生士バンク説明会、（Web）歯科衛生士離職防止講演会、九州各県医療管理担当者会、（Web）厚生・医療管理委員会

学　　院：体験入学、学院推薦入学試験、入試委員会、研修旅行

国保組合：第２回理事会

以上、各担当役員より報告がなされた。

６　報告事項

１．退会会員について
故　四宮 藤雄 会員（終身会員／上益城／閉院）令和５年９月30日ご逝去

２．学生支援制度検討委員会について

３．オンライン資格確認未導入会員対象アンケート結果について

４．熊本県在宅医療連合会代表者会議開催経過について

５．「Beauty × Teeth コンテスト検討委員

会」について
6．サイバーセキュリティ対策チェックリスト立ち入り検査について
7．９月末会計現況について
8．その他

7　連絡事項
1．11月行事予定について
2．その他

8　承認事項
1．関係機関・団体からの役員等の推薦依頼について
①熊本県エイズ対策会議／熊本県健康福祉部健康危機管理課【承認】
推薦：工藤理事
②熊本地域リハビリテーション支援協議会委員／熊本地域リハビリテーション支援協議会【承認】
推薦：長野常務理事、町田理事
（任期:～令和6年6月代議員会終結時）
③熊本県感染管理ネットワーク運営委員／熊本感染管理ネットワーク【承認】
推薦：吉武委員（地域保健学校歯科委員会）
2．後援依頼について
• 熊本糖尿病ネットワーク研究会in上益城圏域／熊本ネットワーク研究会【承認】後援することを承認した。

9　議題
1．関係機関・団体への会費等の納入について
①令和５年度会費／熊本県海外技術研修事業後援会【否決】
会費の納入はしない。
②賛助会費／公財）熊本県移植医療推進財団【承認】
１万円の会費を納入することを承認した。
③募金／公財）結核予防会【否決】
昨年度同様、募金は行わない。
2．メールニュースについて【承認】
不具合があり配信停止をしている状態のため、有料版への更新を承認した。
3．城北地区役員連絡協議会・県歯への要望について【承認】
県歯への要望について回答（案）を承認した。
4．熊本県歯科衛生士会への補助金交付について【承認】
50万円の補助金交付を承認した。
5．「中国・四国」「九州」地区歯科医師会役員連絡協議会について【承認】
次第、日程案を承認した。
6．事業企画書について
• 代診派遣バンク募集アンケート調査【承認】
一部修正して、会員へアンケート調査することを承認した。
• HIV陽性者の一般歯科治療受け入れ歯科診療所の募集【承認】
周知文書をまとめて、会員へ周知することを承認した。
7．歯科特殊健康診断について【承認】
会員へ周知することを承認した。
8．「いい歯の日」新聞広告について【承認】
一部修正して、掲載することを承認した。

10　協議事項
1．その他
• 九州老年歯科学会について【承認】
作成中であるが、周知するためにチラシ（案）を承認した。

11　監事講評
増田監事：「二地区役員連絡協議会が開催されます。今年度もっとも大きな行事であり重要な行事であると思います。会長他役員の先生方、大変と思いますが、一致団結して協力して取り組んで下さい。代診派遣制度について、高齢化が進む中で、依頼も増えてきます。様々な課題もあると思いますが、会員の先生が安心して療養、治療ができるように充実した制度にして欲しい。」
水上監事：「代診派遣制度について、スピード感を持って問題点含めて決めて欲しい。九地連学会やFDI等、大きな学会に行くと勉強になり、色々な人と知り合える。輪が広がり自分の歯科人生が膨らみます。歯科界の事を話せる機会もあるので、是非学会等に参加して下さい。」

12　閉会：大林副会長

（広報　神﨑 理子）

委員会報告

4年ぶりのリアル開催を熊本で

― 令和５年度九州各県歯科医療安全対策担当者会 ―

医療対策

10月28日（土）午後２時30分より県歯会館において標記会議が４年ぶりの対面で、日歯より寺島常務理事、九州各県から担当者が２人ずつ来熊されて開催された。永松副会長の開会の辞に続き、伊藤会長、寺島日歯常務理事の挨拶の後、座長に椿賢理事を選出し協議された。また、ユース社会保険労務士法人から田畑和佳子代表社員をお招きし、「スタッフが働きやすい環境を整えるための労務管理について」とのタイトルのもと、ご講演いただいた。

寺島日歯常務理事より日歯報告があり、「歯科ヒヤリ・ハット事例収集等事業」が日本医療機能評価機構にて令和５年10月１日から開始され、メールマガジン等でも案内されている点、歯科でも積極的に登録を促している点について報告された。また、歯科衛生士などのスタッフ離職防止を考え、労務管理改善について積極的に取り組んで頂きたいとの旨を報告された。

【各県提出協議題】

①医療安全対策関連情報の会員への情報発信について（福岡県）
②ヒヤリハット事例の対応について（福岡県）
③電話相談における非会員の取り扱いについて（長崎県）
④歯科医療安全対策部が患者からの苦情、トラブルを受ける際の基準について（佐賀県）
⑤相談電話への対応について、事務局での録音に対する質問（宮崎県）
⑥高次医療機関と歯科医師会との定期的な協議会について（宮崎県）
⑦サイバーセキュリティ―について（鹿児島県）
⑧撤去冠の取り扱いについて（沖縄県）
⑨過去５年間の医療過誤、医療事故の裁判事例について（熊本県）
⑩ドクターショッピングするクレーマーについて（熊本県）

九州各県より担当者、日歯より寺島多美子常務理事をお招きした

医事紛争事例報告が各県から提出され、それぞれ報告が行われ円滑に会議が進んだ。

【日歯への要望及び質問について】

①新型コロナウイルス感染症の５類移行後の感染対策について（沖縄県）

５類移行の対応については、インフルエンザの同時流行も警戒して、従来通り、感染対策に取り組む姿勢が重要との見解であった。

また協議事項として、九州各県歯科医療安全対策担当者会議のペーパーレス化について熊本県から議題があがり、各県概ね対応できて問題はないが、情報漏洩の観点が懸念され、今後の検討課題となった。

多岐にわたる情報交換を行い、牛島専務理事の閉会の辞にて盛会のうちに無事、会議を終了した。

（上村 裕希）

委員会報告

歯科衛生士が仕事に魅力を感じる診察室とは

― 歯科衛生士離職防止講演会 ―

厚生・医療管理

10月11日（水）19時30分より、オンライン配信で標記講演会が開催された。開会後、永松副会長より挨拶があり、歯科衛生士の本田貴子先生に標記演題で御講演いただいた。歯科衛生士の退職理由として、結婚・出産に次いで「人間関係の問題」が挙げられており、2019年２月時点で、歯科衛生士の免許を持ちながら、歯科に関わっていない人が約14万人いるとのことだった。

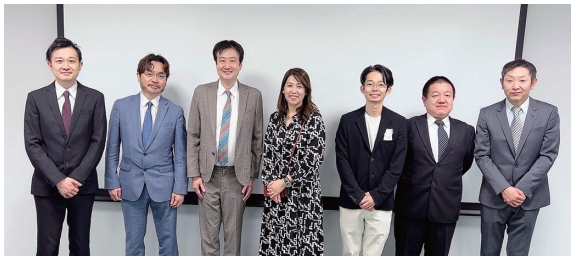
人間関係改善において、コミュニケーションをとることは重要であり、人の違いを受け入れ、スタッフに興味を持ち、何を考え何がしたくて何に不安を感じているのかを理解し、スタッフに「やる気、やりがい、楽しさ」を与えて欲しいとのことであった。

また、腕の組み方、手の組み方で右脳型左脳型を大きく４つにカテゴライズし、相手に適したより効果的なコミュニケーションの取り方の説明があった。ライフステージでライフワークバランスが変わり、自己受容や自己肯定ができなかったりする場面も出てくるが、完璧なものは何もなく、周りには仲間がいて、協力しあい、補い支え合いながら一緒に作り上げていきたい。魅力的な診療室が増えるようにこれからも歯科界のために貢献できたら幸せですとのことであった。

オンラインで講演が配信された

スタッフに仕事を楽しんでもらうために、やりがいを持って働いてもらうために希望や期待を伝えるだけでなく、ありがとうの感謝の言葉が言い合える、お互いを尊重し合える、優しくて明るい院内環境作りに努めていきたい。

（工藤　智明）


本田先生を囲んで

委員会報告

歯科衛生士不足解消に向けて

― 歯科衛生士バンク説明会 ―

厚生・医療管理

9月28日（木）19時30分より、県歯会館４Ｆホールとオンラインのハイブリッドにて標記説明会が開催された。開会後、永松副会長より挨拶があり、昨今の歯科衛生士不足の現状について説明がなされた。説明会は主に厚生医療管理委員会・江藤委員によって行われ、スライドで歯科衛生士バンクがどういったものであるかというシステムの話から実際のホームページにおける登録の仕方や注意点、禁止事項等の説明を行った。また、ホームページの周知方法としてLINEやインスタグラムを活用していく旨も併せて説明を行った。また、補足として工藤理事より本システムの創設に至った経緯や今後の展望についても説明がなされた。説明会には県歯科医師会のホームページを担当の㈲ソフトシンクの一山様、歯科衛生士バンクLINEを担当の㈲ティ・ケイカンパニーの高野様、歯科衛生士バンクインスタグラムを担当の㈱SARAの宮口様にも同席していただき、最後の会員の質疑応答にも対応していただき、説明会は終了した。まだ始動したばかりで、まだまだ改善の余地もあると思われる本システムだが、会員の先生方の意見もふまえつつ、登録者数を増やして、会員と休職中の歯科衛生士双方にとって有意義なものとなるよう発展させていきたい。

会場とオンラインのハイブリッドで開催された

～お願い～

このたび新設した熊本県歯科衛生士バンクは、県歯科医師会のホームページよりアクセス可能です。また、歯科衛生士バンクの周知のためLINEグループとインスタグラムを開設いたしました。休職中・離職中の歯科衛生士に本バンクを知っていただき、登録者を増やすためには会員の先生方やご勤務されている歯科衛生士の皆様のご協力が必要となりますので、ご協力のほど重ねて宜しくお願い申し上げます。

（工藤　智明）

熊本　歯科衛生士バンク LINE グループ

熊本　歯科衛生士就業支援インスタグラム

DHBANKKUMA

委員会報告

多くの協議題に活発な質疑

― 令和５年度九州各県歯科医師会医療管理担当者会議 ―

厚生・医療管理

10月14日（土）午後２時より福岡県歯会館において、標記会議が開催された。今年度は４年ぶりの対面会議であり、九州各県医療管理担当者および日歯寺島常務理事の出席で福岡県歯会により進行された。福岡県歯本城理事の開会の辞の後、福岡県歯松中副会長、日歯寺島常務理事から挨拶があった。出席者紹介ののちに座長・副座長が選出され、次に、日歯寺島常務からの日歯報告へと移った。日歯報告ではまず歯科衛生士・歯科技工士の慢性的な不足に対しての取り組みとして、日歯より政府に人材確保のための予算や法整備の要望の提出であったり、食育支援や嚥下訓練などに歯科衛生士が参加するためのシステムづくり、歯科衛生士・歯科技工士養成校に対する補助の拡張、歯科技工士離職防止に対しての予算要望もされている旨が報告された。また、キャッシュレス決済に関してはキャッシュレス推進のタスクチームを結成することで手数料や療養担当規則の問題へ対応していくことを説明された。他の報告事項として税制改正の件、国税局との会議、インボイス制度、青色申告、ヒヤリ・ハット報告システム稼働の件についてなどの報告がなされた。

その後、各県提出の協議に入った。内容は以下の通りである。

⑴　令和５年度九州各県医療管理関係事業計画および予算について

⑵　各県提出協議題

１．歯科医院承継についての取り組みについて
２．パワハラ防止法に関する会員周知について
３．コロナ感染症５類移行後の対応について
４．歯科衛生士確保のためのPR事業について
５．歯科衛生士向け卒後・復職支援の研修や実習またその連絡方法について
６．歯科衛生士の離職防止に対する対応について
７．HIV患者の歯科治療の県の方針・現状について
８．救急薬品に関する研修会について
９．開業前の内覧会における歯科健診等について
10．マイナンバーカードによる資格確認のトラブル対策について

⑶　日歯への質問・要望について

１．安全管理指針を策定する際のモデル（ひな形）について
２．電離放射線健康診断結果報告書について
３．電子帳簿保存法の今後について
４．歯科用金属の買い取りについて
５．撤去冠買取について
６．過疎地域への歯科診療の対応について
７．外国人患者への対応について
８．オンライン資格確認PC等機材、保守料の耐用年数後取り扱い保証について
９．マイナンバー制度普及に対する日歯の対応について
10．会議の開催形式について
11．BCP（事業継続計画）のひな形作成の要望

⑷　その他

1．会議資料のペーパーレス化について

本県からは工藤理事と牧委員長が出席した

会議は次期開催県佐賀県の挨拶と福岡県歯山本理事の閉会の辞をもって定刻に終了した。今年度も多岐にわたる議題が話し合われたが、特に歯科衛生士不足問題は各県とも苦慮されており、多くの質疑が飛び交った。熊本県厚生医療管理委員会としても他県の取り組みは大変参考になった。稼働したばかりである歯科衛生士バンクなどに生かしていければと考えている。来年度は佐賀県での開催が予定されている。

（工藤　智明）

天草郡市歯科医師会

第65回歯牙供養祭に向けて

― 歯恩の碑の清掃 ―

10月14日（土）、天草郡市歯会恒例の南公園内の「歯恩の碑」清掃が各会員に対し午後３時集合とFAXで案内があったが手持ち無沙汰に40分早出して行ってみると、もうそこには既に袋詰めに集められた剪定後の枝葉、そして後整理を始めている牛深の浦田先生の姿！

聞けば午前11時には到着して一人で黙々と作業されていたとのこと。午後４時には戻って地元の神社のお祭りの加勢をしなければ、ということで早出してこられたとのこと。夏過ぎにここで浦田先生一人で作業をされるのは今日で３回目。歯恩の碑とその周りの植木…既に綺麗に仕上がっていた。県歯での用事で早引けされる為３番目に到着された松本先生はパッと一見して「もうこれなら、写真だけ撮って帰れるんじゃ？」との偽らざる感想。

浦田先生、一人でここまでの作業、頭が下がりましたm(_ _)m。今回の記事を書くにあたり早めに行って先生のお姿を見られてよかったです。それから続々と来られた先生方ももちろん更なる美化を進める為、共に汗を流されました。

歯恩の碑の清掃に汗を流した

皆様お疲れ様でした。

（布井　隆行）

上益城郡歯科医師会

コロナ禍明けて久々の開催

―『8020 歯からはじめる「笑顔ヘルC」キャンペーン』無料歯科健診 ―

10月22日（日）午前９時から正午まで熊本イオンモールで標記キャンペーンを開催した。コロナ禍のため、久しぶりの対面式での健診の実施となった。熊本イオンモールの協力をいただき、歯の健診や歯科に関する相談、歯磨きの仕方に関する相談などを行った。健診を受けた方には粗品をお渡しし、小児には協賛企業の方々の協力によりくじ引きなどを行い、大変喜んで頂いた。健診、相談では普段診療室ではなかなか相談できない内容が多数寄せられた。受診者の方は参加協力頂いた歯科医師・歯科衛生士の方々の丁寧な対応にご満足頂けた様だった。

無料歯科健診、相談に対応

（二渡　淳）

玉名郡市歯科医師会

4年ぶり開催で楽しく語り合う

— 福寿会 —

9月22日(金) 午後6時30分より「尚玄山荘」にて4年ぶりに福寿会が開催された。この会は数え70歳（古希）以上の会員をお祝いするとともに、長年会を支えて頂いたご尽力に感謝の意を表す場として宴席を設けている。福寿会会員8人と執行部8人合わせて16人の参加があった。

会が始まる前に参加者全員で写真撮影が行われた。まず大林会長より「会へのご協力に感謝します。これからも健康に留意して様々なことで会を支えて頂きたい。」と挨拶があった。次に福寿会会員の8人からそれぞれお言葉を頂いた。その挨拶の中で皆様方が健康に気を付けながら、仕事に趣味に前向きに取り組まれている事がうかがえた。その後乾杯の発声を山本副会長が行い宴会に移った。美味しい料理に、お酒を堪能しながら、会員旅行やボウリング大会など、会のイベントの思い出やお互いの近況などを楽しく語り合った。

参加者全員で

来年も福寿会会員と楽しく語り合う、この会を続けていけることを願う。

（永廣 有伸）

九地連報告

個人総合 準優勝、2人チーム戦 3位、個人戦 4位

— ボウリング部 —

10月22日（日）午前８時より第75回九州歯科医学大会親善ボウリング大会が、九州各県から47人の選手が宮崎エースレーンに集まり４年ぶりに開催された。

熊本県歯会ボウリング部に所属する会員も年齢を重ね、病気や怪我で欠場する部員が多数ある中、今年の県チームは、奥田良樹・菊竹茂人・秋山清・伊藤延隆の４人での参加となった。

開会式の後、練習投球を経てまず個人戦３ゲームがスタートした。何と１ゲーム目から秋山会員がスクラッチ267のビッグゲームを叩き出し首位発進となった。続く２、３ゲーム目は負傷している右腕の状態が悪化し失速、160ピン台止まりで惜しくも優勝の機会を逃した。最終的な個人戦の結果は秋山会員が611（HC ５×３込み）で４位入賞、23位に奥田会員、28位に伊藤会員、45位に菊竹会員となった。

続く２人チーム戦は奥田・秋山の熊本Ａチームが３位入賞、菊竹・伊藤の熊本Ｂチームが21位。コロナ禍でも毎週のように個人練習に励んでいた奥田・秋山ペアは日頃の成果が見事に現れた結果となった。この最中に伊藤会長以下執行部役員、事務局の皆さんの応援を頂き、大変励みになった。この場をお借りして、お礼申し上げます。また終日に渡り飲み物を提供いただいたカワリョウ九州様にも、重ねてお礼申し上げます。

昼食を挟み優勝旗がかかる４人チーム戦は、善戦空しく1,951ピンで９位に留まった。優勝は2,378ピンの福岡Ａチームで、熊本県の悲願である優勝旗奪還は今年も成し得なかった。

大会直前に体調を崩し参加が危ぶまれた伊藤会員、10月初旬に練習で右腕を負傷した秋山会員も最後まで無事に投げきり、熊本県チームとして戦績を残せたのが幸いであった。

表彰台に上り、笑顔の奥田、秋山会員

最後に個人総合９ゲームトータルの表彰があり、秋山会員が見事準優勝に輝いた。優勝した福岡の選手とスクラッチで36ピン差の1,857ピン・ave206（HC ５×９込み）で当初の目標であったスクラッチave201を達成出来た。

大会は、来年度開催の沖縄県代表の挨拶で閉会となった。

総括すると熊本県の選手も複数表彰台に立つことができ、好結果を納めた宮崎大会であった。会員の皆さんほとんどの方が、ボウリングはレジャーとして楽しまれた経験があるかと思います。私たちは「競技」としてスポーツボウリングを行っていますが、高齢になっても健康維持のために楽しめます。奥田会員、秋山会員も大学のボウリング部出身ではなく、ただ好きで始めたオジさんです。熊本県下のボウリング場では健康ボウリング教室を格安で不定期に開催していますので、ご案内いたします。ボウリングが好きな会員の先生、学生時代ボウリング部だった先生、県歯事務局までご連絡頂ければ随時ボウリング部員が体験練習会を企画します。ボウリングに興味がある方、ご連絡お待ちしています。

（秋山 清）

九地連報告

無念の１回戦敗退

―野球部 ―

10月22日（日）、宮崎県ひなた宮崎県総合運動公園軟式野球場に於いて、第75回九州歯科医学大会野球大会が開催された。試合に先立ち開会式で物故会員への黙祷ならび永年功労選手表彰が行われた。熊本県歯会からは、有田が40年、井口が30年、井野が20年、宇治と江頭が10年とそれぞれ表彰された。試合は、１回戦で沖縄県歯会と対戦したが敗れた。

１回戦

沖縄県歯科医師会	0	4	6	3	13	時間切れコールド
熊本県歯科医師会	1	1	3	0	5	

（沖）西平―安里
（熊）西、高尾、河合―福井
▽本塁打　安里１号④（沖）
▽三塁打　仲本（沖）
▽二塁打　小林（沖）、与那覇（沖）、安里（沖）、江頭（熊）、新中須（熊）

初回、熊歯は二死から江頭が中越え二塁打を足掛かりに西の中前適時打で１点を先制した。しかしながら、２回に先頭打者を失策で出塁させると四球や連続適時打などで４点を奪われて逆転された。反撃したい熊歯は一死から椿が左前打で出塁すると、盗塁で進塁後に新中須の左翼線二塁打で１点返した。続く３回表に先頭打者の中越え三塁打で出塁を許すと捕逸で１点、安打と四球で一塁二塁とした所で高尾と交代するが、相手打線の流れを止めることが出来ずに押し出し四球と中越え本塁打でこの回６点を追加された。続く３回、先頭の田中弥が左前打で出塁すると連続四死球で満塁として内野ゴロなどで３点を返すが、４回にさらに３点を奪われて突き放された。

参加者　菅原、河合、渡辺洋、右山、吉崎、井口、田中弥、井上、井野、西、田中勝、西山、福井、椿、宇治、渡辺裕、田中雄、高尾、江頭、新中須、岡、久保

（謝辞）最後になりましたが球場まで応援に来て頂きました伊藤会長、執行部の先生方ならび事務局員の方々にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

（井上 真樹）

宮崎の空に快音を響かせる

九地連報告

４年ぶりの九地連　Ａチーム４連覇！

— 剣道部 —

10月22日（日）コロナ禍明けから４年ぶり第65回九州歯科医学大会剣道大会が、『ひなた宮崎県総合運動公園ひなた武道館』にて開催された。試合は、団体戦と個人戦が行われ、団体戦は各県合計９チームが出場した。団体戦では、２つのパートに分かれて予選リンク戦を行い、上位２チームが決勝トーナメントへ進出し、優勝を争うリンクトーナメント方式で行われる。基本、５人制だが、今大会はコロナ禍後ということもあってか、９チーム中５チームが３人編成の少し寂しい状況であった。３連覇していた熊本県勢は、今大会で優勝すれば４連覇である。熊本勢はＡチーム５人、Ｂチーム３人という布陣で、試合に臨んだ。まず団体予選が行われ、決勝トーナメントに出場する２チームが決定、次に個人戦が決勝まで行われる。その後、団体戦決勝トーナメントが行われるという流れだ。熊本Ａチームは、初戦に３人編成の沖縄県との対戦であった。５人対３人での対戦の場合、次鋒と副将は自動的に二本勝ちとなるため、かなり有利だ。先鋒の上村は、出小手を捉えて先取するも、すぐさま面を返されそのまま引き分け、次鋒三森選手は不戦勝、中堅中井選手は相手が小手に来たところを相小手面に乗せて一本先取するも、中盤で小手を奪われこちらも引き分け、副将太田選手は不戦勝、二勝二分けでチームの勝ちが決まったところで、大将中嶋選手の登場である。相手が中途半端に出てきたところを、上段の構えで上から面を一本、相手が居着いたところをすかさず小手を決めて圧巻の二本勝ちであった。Ａチームリンク戦二回戦目は、開催県で優勝候補の一角である宮崎県だ。宮崎の先鋒は28歳ピチピチ現役まっしぐら！動きが早く苦労したが、47歳の上村、約20歳の年齢差を年の功でかわして引き分けに持ち込んだ。続く次鋒三森選手、中堅中井選手も引き分けで、

怪我無く無事に終わりました!!ご声援ありがとうございました!!

前半戦は全くの互角でしのぎ後半戦に望みをつなぐ。副将太田選手の出番である。ここは流石の試合巧者！きちっと面を決めて勝利！大将の中嶋選手が引き分けとなったため、この一本が試合の決め手となった。Ａチームはリンク戦で二勝するも、本数差で惜しくも二位通過であった。熊本県Ｂチームは３人での出場となったが、対戦相手の大分県、佐賀県も同じ条件での出場で、決勝トーナメント行きが期待されたが、一勝一敗で惜しくも予選敗退であった。個人戦では、今年こそ熊本から優勝者をと皆気合いを入れて臨んだが、男性陣はぱっとしない結果に終わってしまった。素晴しいことに、唯一の女性剣士溝口選手が、男性選手ばかりのトーナメントに出場し、三位入賞をつかみ取った。来年の活躍にも期待大である。いよいよ舞台は決勝トーナメント。相手は前回大会準優勝の鹿児島県。前回大会も二勝二敗一分け本数での辛勝であったし、簡単には勝たせてくれない。絶対に勝たなければいけない切り込み隊長の先鋒上村であったが、相手の妙技に惑わされ、まさかの一本負け。このまま流れを持っていかれてずるずる負ける訳にはいかない！次鋒三森選手が奮起し、試合の流れを取りもどす鮮やかな一本勝ち。試合を五分に戻した。続く中堅中井選手、副将太田選手が持ち味を十分に発揮し引き分けで試合の流れを堅守した。

やはり鹿児島との試合は簡単にいかない。ここまで全くの互角。勝敗の行方は大将の中嶋選手に委ねられた。こういうときの中嶋選手はとても頼りになる。プレッシャーのかかる中での流石の２本勝ち‼辛くも決勝戦へと駒を進めることになった。決勝の相手は、熊本Ａチームと同じリンクを１位で通過した長崎県だ。予選では対戦していないが、１位通過だけあって油断はできない。が、試合が終わってみれば、次鋒三森選手の引き分け以外４選手が２本勝ちという快勝で、４連覇という偉業を達成した。現在、剣道部も少しずつ部員が減っており、寂しい状況になりつつある。若手の新入部員が入部してくれることを切に願っている今日この頃であるが、日頃から、稽古する機会を与えてくださる先生方へ感謝すると共に、今回も宮崎まで応援に来てくださった伊藤会長、椿副会長や牛島専務、事務局の方々に厚く御礼を申し上げて終わります。応援、ありがとうございました。来年も優勝して５連覇達成します！

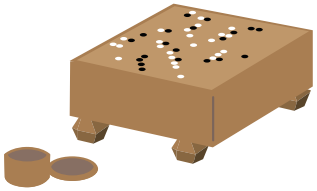
（上村　裕希）

吉永会員が見事、優勝！

— 囲碁部 —

10月22日（日）
会場…宮崎県歯科医師会館
九州歯科医学大会「囲碁大会」
優勝：吉永誠一郎　五段（熊本県）
２位：櫻木　　発　六段（福岡県）
３位：前田　哲治　六段（長崎県）
※吉永と２位は僅差で、ついていただけです。
　僕は弱い者いじめが得意です。
　でも強い人は苦手です。

（吉永誠一郎）



熊本県は団体戦５位

— ゴルフ —

於）宮崎カントリークラブ

団体戦
５位　熊本県（松本　信久、花田　雅弘、
　　大林　裕明）

一般の部
10位　三隅　賢祐、26位　松本　信久、
28位　松永　　久、34位　中原　正弘、
50位　大林　裕明、51位　齋藤　健三、
67位　竹下　憲治、68位　花田　雅弘、
75位　西野　隆一、91位　石井　洋一

グランドシニア
５位　藤岡　憲昭、９位　三隅　晴具、

熊本県から参加した会員で記念撮影

21位　神山　久志

（松本　信久）

九地連報告

昨年に続き福岡に惜敗、準優勝

— テニス部 —

九地連の厚生事業として、第33回九地連テニス大会が宮崎市生目の杜運動公園を会場に行われた。

（前日の様子から）

テニス部メンバーはそれぞれ食事会、大学同窓会などに分かれて宮崎の夜を堪能することに。

大塚先生、城井先生、山根先生、山口洋平先生、有働は宮崎県のテニス部の先生にあらかじめ紹介して頂いていた和食屋で食事会を開催。

美味しい料理に舌鼓を打って途中から小野先生、髙松先生、飯田先生が合流。食事も後半に差し掛かったところでお蕎麦が出てきたぐらいから私の記憶が薄れていき…。その後、復活！

元気な人は締めにうどん、ラーメンでエネルギー補給。

（試合当日）

天気はすこぶる快晴！

８時45分、開会式が行われ優勝杯の返還が博多山笠より行われ、次期開催の沖縄県より挨拶があり、競技説明の後、集合写真撮影があった。女性の先生、75歳以上の先生にハンデがあり、最高齢は福岡県83歳の松浦先生だった。

午前９時試合開始！

Ａチームは山口一･山口洋、飯田･山口英、八木・宮城ペアの構成、予選リーグ戦は全勝でＡトーナメントへ、問題なく勝ち進んだが決勝で福岡博多山笠に惜しくも敗れ準優勝となった。

Ｂチームは友枝･野村、山根･城井、大塚･小野ペアでこちらも予選リーグ３位で勝ち上がりＢトーナメントへ、昨年決勝で勝った久留米河童連に惜しくも準決勝で負け、３位決定戦へ、そこでめじろん（大分県と宮崎県の混合チーム）に勝ち、３位となったが昨年優勝しただけに悔しい結果となった。

熊本メンバー一同で記念撮影

私が入っているくまモン混成チームは宮崎県より富田益生先生、押領司謙先生のお二人を招いての対戦となった。チームは髙松・有働、富田・押領司、木村・西村、でペアを組み団体予選リーグを行い、その後Ｂクラスのトーナメントへ。予選では博多山笠(福岡)、軍艦島（長崎)、かりゆし（沖縄）との試合で接戦、もう一息ではあったが３敗。トーナメントでは久留米河童連（福岡県と宮崎県の混合チーム）に負け終戦となった。各県とも参加者の先生の平均年齢が高く感じ、長くできるスポーツだなと改めて感じた。

私は昨年沖縄のチームに入れていただいたのだが、宮崎で沖縄の先生方と再会し、楽しく交流を図れたことも九地連ならではと思った。ただ、楽しかった前日の食事会で体調不良となり反省である。来年は沖縄開催。あと１年初心にもどって毎週の練習も目標をもって頑張っていこうという気持ちと体調管理の継続が大切だと強く思った。

最後になりましたが、熊本県歯科医師会伊藤会長はじめ役員の先生方、事務局の皆様には現地まで応援に来ていただき、ありがとうございました。テニス部一同感謝の念でいっぱいです。

今後も熊本メンバー一同練習を重ね、再度熊本に優勝杯を持って帰ってこられるように頑張っていく所存です。

（有働 秀一）

報告　表　彰

＜令和５年度 学校保健表彰（文部科学大臣表彰）受賞＞

片山 公則先生

授賞式：10/26(木)　令和５年度全国学校保健・安全研究大会　神戸文化ホール

＜令和５年度 歯科保健事業功労者（厚生労働大臣表彰）受賞＞

加藤 久雄先生

授賞式：10/14(土)　第44回全国歯科保健大会　あきた芸術劇場ミルハス

※代理出席

＜令和５年度 日本歯科医師会会長表彰受賞＞

①塚本卓也先生　②山本宏先生

授賞式：10/14（土）　第44回全国歯科保健大会　あきた芸術劇場ミルハス

※お二人とも代理出席

リレー投稿 84

峠を越えた歯科医の戯言

湯前町　むかえ歯科医院　向江 富士夫

今日は。球磨郡湯前町という熊本県と宮崎県の県境で開業しております向江と申します。

この度、齋藤人吉歯会会長からの引き継ぎで投稿させて頂きます。1957年小倉生まれで、1982年九州大学歯学部を卒業しました。同級生は、熊本市子飼の西野先生、水前寺の木村先生、富合の平野先生です。３年間同大学の口腔外科に在籍し、予てからの志で縁もゆかりもない僻地の現在地に雇われ院長として赴任しその後開業しました。予てからの志と言ったら格好いいのですが、当時、手術の全身麻酔の麻酔医を担当していたのですが、夜中の研究が重なり寝不足で、ついウトウトとしていました。術中に教授から、「患者の唇が青いぞ！」と指摘を受けました。慌てて調べると出血量を見落としていて出血多量によるチアノーゼに陥っていたことがわかり、慌てて輸血をして事なきを得ました。こんな生活続けられないと医局を逃げ出したのが実情です。断りなく就職先を決めたので、教授から火の出るように怒られました。その時、間を取り持ってくださったのが、当時医局長だった篠原熊大名誉教授でした。足向けて寝られません。

習慣や方言の違いに戸惑いながらも40年も当地で働かせていただいています。水と空気と人は良い所です。田舎なものですから、色々な患者さんがいらっしゃって、熊本市内の患者さんのように高いレベルの治療を要望される方も一握りいらっしゃいますが、虫歯で崩壊した歯が舌に当たるので丸くするだけしてくれ、とか、Ｃ３、Ｃ４だらけなのに歯は扱わず、入れ歯だけ作ってくれ、などいろんな方が来院されます。卒業したての時は途方に暮れていた事も、術者もアバウトになり対応ができるようになりました。

総義歯はシュライヒ先生、歯周病は加藤先生、歯内療法は高島先生や富永先生、インプラントは中村社綱先生、矯正は中島昭彦名誉教授、包括治療は木原敏裕先生に師事し、少しは勉強しましたが、歯科医としては、二流以下で終わりそうです。若い頃、日本でも高名な先生に「歯科医として一流になりたいなら、歯科医師会とロータリークラブと趣味は年取るまでは、関わるな！」と言われたことがありましたが、「田舎だから二流でいいや！」と全て続けました。言われた通り二流以下になりましたが、沢山の先生方にお世話になりました。

球磨郡歯科医師会は会員の高齢化で存続の危機に瀕しております。私の会長職も９年目に入りました。介護認定審査委員や公立多良木病院、上球磨包括支援センター、球磨地域医療構想会議の運営委員、警察協力医なども兼任し、かなりの会議をこなしています。成り手がいないのです。現在、人吉さんに合併をお願いしている所です。人吉の先生方助けて下さい。

趣味の弓道は、指導者の立場に

多良木ロータリークラブで今、幹事をしています。今年は、天草の中嶋先生がガバナー補佐をされ、来年度は益城の三村先生が熊本と大分の指導者であるガバナーをされる予定です。歯科医師が活躍されています。地元クラブは会員数の減少で予算はない、会費は上げない、委員会の行事予算は請求するでやりくり困難が続き、存続が危ぶまれています。

趣味は、弓道で現在教士七段を頂いています。熊本県弓道連盟常任理事や県教錬士会会長、県審査員などを受けざるを得なくなり、自分が稽古するより指導者の立場になり、雑用も増えてきました。昔は、そこそこ的中していたのですが、今はだんだん下手になっていくのを感じます。

体調は、２年前にコロナワクチンの接種を受けた同時期に、息切れが激しくなり病院に行ったら、多発性血栓性肺動脈塞栓症による心臓の左心房、右心室肥大、三尖弁閉鎖不全症の診断を受け、熊大で４回心臓カテーテル治療を受けました。まだ、完治はしておりません。

65歳になり、介護保険被保険証が来たときは、非常にショックでした。これをオイル（老いる）ショックと言うんだそうです。働いていた三男が何を血迷ったのか、30歳にもなって突然歯学部に入学してしまい、卒業するまで働かなければならなくなりました。三男が片付いたら妻と余生を楽しむのが唯一の楽しみです。次は、阿蘇の佐藤俊一郎会員にバトンタッチします。

会　務　報　告

自　令和５年９月22日
至　令和５年10月19日

所管	日付	摘要	出務者
総　務	９月22日	第45回全国歯科保健大会準備会 （１）熊本県・市との打合せ	牛島専務理事、宇治常務理事、髙水間理事
	26日	県口腔保健支援センター出務（県庁）	髙水間理事
		第180回九州地方社会保険医療協議会熊本支部（熊本第二合同庁舎４階第１会議室）	椿副会長
		第５回理事会 【承認事項】 （１）新入会員（２）関係機関団体からの役員等の推薦依頼（３）後援・共催依頼 【議　　題】 （１）関係機関・団体への会費等の納入（２）保存期間を経過した文書の廃棄（学院） （３）令和５年度「生きる力をはぐくむ歯・口の健康づくり調査研究事業」助成金交付申請 （４）口腔保健センターの訪問車購入（５）部活動補助金交付申請 （６）口腔保健センター登録歯科医制度、協力医制度	伊藤会長、長野常務理事除く他全役員
	28日	第３回県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会（県庁）	椿副会長
	29日	第48回九州各県事務職員研修会（福岡県歯会館）	岡﨑事務局長他５人
		熊本県感染症対策連携協議会（ホテル熊本テルサ）	牛島専務理事
	30日	第１回郡市会長・専務理事連絡会議 （１）歯科健診啓発チラシ（２）歯科特殊健康診断 （３）終身会員移行に伴う第３種会員の取り扱い	伊藤会長他常務理事以上、工藤・髙水間・野田理事
	10月３日	第６回常務理事会 （１）関係機関・団体への会費等の納入 （２）九州地区連合歯科医師会の組織、事業、機能等の見直しについてアンケート （３）学生支援制度検討委員会（４）メールニュース （５）学院Wi-Fiの仕様変更、それに伴うルーターの更新 （６）城北地区歯科医師会役員連絡協議会・県歯への要望	伊藤会長他常務理事以上全役員
		【Web】くま歯キャラバン隊（菊池郡市）（診療所） （１）点数アップの為の保険診療のポイント：受講者：28人	舩津理事
	４日	日歯広報委員会正副委員長事前打合せ（日歯会館）	伊藤会長
		日歯広報委員会（日歯会館）	伊藤会長
		日歯ホームページ「日歯8020テレビ」に係る打合せ会（日歯会館）	伊藤会長
	５日	第８回日歯常務理事会（日歯会館）	伊藤会長
	６日	県口腔保健支援センター出務（県庁）	宇治常務理事
	11日	県口腔保健支援センター出務（県庁）	髙水間理事
		支払基金審査運営協議会（支払基金、診療所）	
	12日	第９回日歯常務理事会（日歯会館）	伊藤会長
		第３回災害時歯科保健医療提供体制検討会 （１）災害歯科保健医療研修強化事業意見交換会 （２）災害歯科保健医療研修強化事業研修会（３）交付申請書	永松副会長、牛島専務理事、宇治常務理事、椿理事
	13日	第44回全国歯科保健大会会長招宴（秋田キャッスルホテル）	伊藤会長
	14日	第44回全国歯科保健大会（秋田芸術劇場「ミルハス」）	伊藤会長、牛島専務理事、宇治・馬場常務理事他３人
		九州歯科医学大会厚生行事・剣道大会壮行会（熊本市）	大林副会長
	17日	第２回県社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会保健福祉推進部会（県庁防災センター）	椿副会長
		第７回常務理事会 （１）関係機関・団体からの役員等の推薦依頼（２）関係機関・団体への会費等の納入 （３）後援依頼（４）熊本県歯科衛生士会への補助金交付 （５）「中国・四国」「九州」地区歯科医師会役員連絡協議会（６）事業企画 （７）歯科健診啓発チラシ（８）歯科特殊健康診断 （９）サイバーセキュリティ対策チェックリスト立ち入り検査に備える研修 （10）「いい歯の日」新聞広告	伊藤会長、長野常務理事除く常務理事以上全役員
	18日	【Web】支払基金審査運営協議会（診療所）	伊藤会長
	19日	月次監査　９月末会計現況監査	増田・水上監事
学　術	10月５日	第２回歯周病対策プロジェクトセミナー　講師・東克章先生	豊田理事
	７日	九州各県学術担当者会（沖縄県歯会館）	豊田理事、内野委員長
	13日	学術委員会 （１）11/26会員発表・講演会（２）３/31熊本県歯科医学大会（３）来年度予算 （４）ファイル箱・キャラバン隊	豊田理事、内野委員長他全委員
社会保険	９月28日	社会保険医療担当者監査（県庁防災センター）	舩津理事
		【Web】社会保険委員会（各診療所） （１）会員向け発行物（２）個別指導立会者、個別相談（３）九州各県社保担当者会 （４）報告事項と今後の日程	椿副会長、舩津理事、桐野委員長他12委員
	30日	社会保険個別相談会　相談者：１人	橋本副委員長他３人
	10月５日	社会保険個別相談会（阿蘇市）　相談者：１人	園田副委員長
	11日	社会保険個別相談会（阿蘇市）　相談者：１人	園田副委員長
	12日	保険個別指導（熊本第二合同庁舎）	中川委員

所管	日付	摘要	出務者
社会保険	13日	【Web】日歯社会保険委員会作業班（診療所）	椿副会長
	14日	九州各県社保担当者会（長崎県歯会館）	椿副会長、舩津・野田理事、桐野委員長
	16日	社会保険指導者研修会（日本教育会館）	椿副会長、野田理事
地域保健学校歯科	9月25日	【Web】地域保健学校歯科小委員会（各診療所） 【Webex】 （1）ヘルＣキャンペーン中央イベント内容	大林副会長、髙水間理事、郷原委員長他３委員
	28日	笑顔ヘルＣキャンペーン打合せ　県歯科衛生士会、熊日との打合せ	大林副会長、神﨑・髙水間理事他６人
	10月２日	【Web】第１回熊本県がん診療連携協議会（診療所）	伊藤会長
	４日	第109回日学歯定時代議員会（日歯会館）	大林副会長
	11日	県歯科保健推進会議ワーキング部会（県庁防災センター）	牛島専務理事、髙水間理事
	12日	【Web】地域保健学校歯科小委員会（各診療所） 【Webex】 （1）基礎研修・更新研修	大林副会長、髙水間理事、郷原委員長他３委員
	13日	地域保健学校歯科委員会 （1）研修会日程と出務者（2）笑顔ヘルＣキャンペーン（3）はいしゃさんキッザニア	大林副会長、髙水間理事、郷原委員長他全委員
	16日	県教育委員会との懇談会（熊本市）	伊藤会長、大林・永松副会長、宇治・馬場常務理事、髙水間理事、岡﨑事務局長
	18日	【Web】がん拠点病院における研修会（熊本大学病院） 講師：熊本大学病院歯科口腔外科　吉田遼司先生	髙水間理事、三森委員
	19日	第87回全国学校歯科保健研究大会（大阪国際交流センター）	伊藤会長、大林副会長
		県PTA共済審査委員会（県総合福祉センター）	牛島専務理事
地域包括ケア	9月25日	小篠県医療的ケア児支援センター副センター長との打合せ（熊大小児在宅医療支援センター）	牛島専務理事
	26日	第１回熊本県在宅医療連合会実務者会議（県医師会館）	長野常務理事
	27日	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施における懇談会（熊本県市町村自治会館）	牛島専務理事
	10月１日	第15回県医療・保健・福祉連携学会（県医師会館）	伊藤会長他６人
	10日	第１回県後期高齢者医療運営協議会（県市町村自治会本館）	長野常務理事
	16日	熊本地域リハビリテーション支援協議会役員会（県医師会館）	長野常務理事
広　報	9月22日	【Web】広報委員会 （1）会報10月号第２校目校正（2）いい歯の日出務者	【会館】神﨑理事、月精委員長、秋山副委員長、井上委員【Web】田中委員
	10月２日	マスメディアとの意見交換会（熊本市）　熊日、RKK、TKU、KKT、KABより８人出席	伊藤会長、牛島専務理事、馬場常務理事、神﨑理事
	３日	くまもと経済取材対応（診療所）	馬場常務理事
	10日	【Web】「Beauty × Teeth コンテスト」検討委員会（各所） 【Webex】 （1）応募者募集における課題 （2）本コンテストの今後の課題と会員及び県民への周知方法	大林副会長、馬場常務理事、神﨑・髙水間理事、秋山副学院長
	13日	【Web】広報委員会 （1）会報11月号第１校目校正	【会館】神﨑理事、月精委員長、秋山副委員長、福嶋委員【Web】他全委員
医療対策	10月２日	医療相談打合せ （1）医療訴訟	永松副会長、椿理事、町田委員長他１委員、福岡嘱託弁護士
	16日	医療対策委員会 （1）事例報告（2）九州各県担当者会議（3）委員提出協議題（4）理事報告	椿理事、町田委員長他全委員
厚生・医療管理	9月27日	【Web】第２回「医療機関におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」に基づいた立ち入り検査に備える研修（診療所）	工藤理事
	28日	【Web】九州地域の医療機関における電波利用推進協議会（診療所）	牧委員長
		【Web】歯科衛生士バンク説明会（県歯会館、各診療所）　Web参加者：55人 【Webex】会場参加者：10人　説明者：㈲ソフトシンク一山氏、㈲ティ・ケイカンパニー高野氏、㈱SARA宮口氏	【会館】永松副会長、工藤理事、牧委員長、神戸・江藤委員【Web】宮本副委員長、黒岩委員
	10月11日	【Web】歯科衛生士離職防止講演会（県歯会館、各診療所） 【Webex】講師：本田貴子先生　参加者：39人	【会館】永松副会長、工藤理事、牧委員長、宮本副委員長、神戸・黒岩委員【Web】江藤委員
	14日	九州各県医療管理担当者会（福岡県歯会館）	工藤理事、牧委員長
	19日	【Web】厚生・医療管理委員会（各診療所）	永松副会長、工藤理事、牧委員長他全委員
センター	10月６日	センター定例ミーティング（口腔保健センター） （1）受付兼事務員（2）購入品（3）来年度事業計画（4）ＤＨ賠償責任保険制度 （5）レセプトチェック（6）集団的個別指導（7）口腔ケア事業（8）患者件数	椿センター長、我那覇副センター長、【Web】山室副センター長
	18日	第46回熊本市民病院　病病・病診連携懇談会（ホテル熊本テルサ）	椿センター長、我那覇副センター長
学　院	9月26日	第５回理事会	東学院長
	27日	学院自衛隊隊内生活体験表敬訪問・申告（北熊本駐屯地）	弘中副学院長、前野会員
	28日	学院自衛隊隊内生活徒歩行進（北熊本駐屯地）	前野会員
	29日	学院自衛隊隊内生活会食（北熊本駐屯地）	前野会員
	30日	第１回各郡市会長・専務理事連絡会議 （1）学院関係報告	東学院長
	10月１日	熊本中央高等学校創立120周年記念式典（市民会館シアーズホーム夢ホール）	弘中副学院長

所管	日付	摘要	出務者
学　　院	3 日	第１回入試委員会 （１）委嘱状伝達（２）実施要項（３）試験問題作成料・採点料見直し	伊藤会長、大林・永松副会長、牛島専務理事、東学院長、秋山・弘中副学院長、正清教務部長、井上教務委員
	4 日	夜間第２回体験入学　参加者：５人	正清教務部長
	9 日	熊本YMCA創立75周年記念式典（九州学院ブラウンメモリアルチャペル）	秋山副学院長
	11日	学院自衛隊隊内生活体験申告（北熊本駐屯地）	東学院長、前野会員
	13日	学院自衛隊隊内生活体験会食（北熊本駐屯地）	秋山副学院長、前野会員
	14日	学院推薦入学試験　受験者：35人（指定校推薦：18人、高校推薦：17人）	大林・永松副会長、弘中・秋山副学院長、正清教務部長、井上教務委員
	17日	第２回入試委員会 （１）出願者数及び合格者数の推移（２）各年度合格者の学科試験点数状況 （３）指定校推薦・高校推薦入学試験合否判定（４）進学サイト次年度提案	伊藤会長、椿・大林・永松副会長、牛島専務理事、東学院長、秋山・弘中副学院長、正清教務部長、井上教務委員
	18日	学院２年生研修旅行（至20日）（大阪・神戸）	弘中副学院長
国保組合	9 月26日	【Web】全協理事長・役員研修会（各診療所）	上野副理事長、牛島専務理事
	28日	第２回国保理事会 （１）自家診療の給付制度（２）旅費及び日当規程の一部改正（案）（３）本会会員の種別 （４）年間行事予定	伊藤理事長他全役員
	10月16日	社会保険指導者研修会（日本教育会館）	牛島常務理事

其の1

会員専用グループ保険制度のご案内

保険料がさらに
お安くなりました

配偶者も1000万円
まで加入OK

◎令和５年８月より
最高「5000万円」の
保障が無診査で加入OK
80才まで継続可能になります！

１年更新で配当金は
毎年加入者へ還元
（2022年の還元率54%）

グループ保険は歯科医師会が契約者で
保険料を一括納付しています。
会員だけがいつでも自由に加入できる制度です。

引受保険会社 幹事 メットライフ生命

其の2

既に下記の保険会社でご加入の会員様も
保険料納付は団体収納扱いでお願いします！

下記保険会社と団体収納契約をしている為、会費明細引きがご利用可能。

個人加入の保険料が団体割引でお安くなり、保険内容に何も影響ありません。

手続きは簡単、事務局が代行します。ぜひ便利でお得な制度をご活用ください。

朝日生命　アフラック生命　住友生命　SOMPOひまわり生命
第一生命　日本生命　明治安田生命　メットライフ生命

[県歯事務局 事業課　TEL：096-343-8020]

福岡歯科大学

専願S 特待生制度

選考人数 20名

6年間の学納金 1,380万円

通常学納金 2,630万円より1,250万円の免除

免除額内訳： 入学金 50万円免除 ＋ 授業料 毎年200万円免除

対象の入学者選抜 ●一般選抜A・B日程 ●大学入学共通テスト利用選抜1・2・3期

[令和6年度入学者選抜日程]

令和6年(2024年) 1.21(日) 総合型選抜2期
地方会場 那覇試験場

令和6年(2024年) 2.3(土) 一般選抜A日程 大学入学共通テスト利用選抜1期
地方会場 東京試験場／大阪試験場

令和6年(2024年) 3.2(土) 一般選抜B日程 大学入学共通テスト利用選抜2期

令和6年(2024年) 3.20(祝) 総合型選抜3期 大学入学共通テスト利用選抜3期

学士等編入学選抜（2年次編入）
第2回 令和6年 1月21日(日)
第3回 令和6年 3月20日(祝)

学校法人 福岡学園
福岡歯科大学

福岡歯科大学 学務課入試係
TEL.092-801-1885
〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15番1号

＼今すぐ検索！／
福岡歯科大学
FAX.092-801-0427

希望のSNSにアクセスしよう！

Kumamoto Prefecture Dentistry Medical Association Report
December 2023 No.810

笑顔ヘルC 8020歯からはじめる

1 January

主な行事予定

4日(木)	事務局仕事始め
9日(火)	第 12 回常務理事会
13日(土)	第 2 回九州各県専務理事会
20日(土)	学院一般・社会人二次入学試験
21日(日)	口腔保健センター登録歯科医制度研修会
21日(日)	第 2 回がん医科歯科連携登録医のための全国共通がん医科歯科連携講習会
23日(火)	第 4 回入試委員会
23日(火)	第 13 回常務理事会
27日(土)	第 2 回各郡市会長・専務理事連絡会議
30日(火)	第 9 回理事会

熊本県ご当地よ坊さん

熊本県歯科医師会
安心・安全歯科医療推進制度

県内大学生が若者への
オーラルケアの情報を発信しています！

Instagram

いい笑顔は BEAUTY× TEETH オーラルケアから

熊本県歯科医師会公認の
オーラルケアサポートアカウント

Instagram

熊本歯科衛生士専門学院は
Instagram でも情報発信中！
ぜひご覧ください

編集者のつぶやき

エンゼルス大谷翔平選手が大リーグ史上初、満票での２回目のMVPを受賞しました。紛争や物価高など将来不安になるようなニュースばかりのこのご時世ですが、思い起こせば今年初めのWBC優勝、史上初大リーグホームラン王…。いつも明るいニュースを日本に届けてくれます。

大谷選手ありがとう!!!にわかファンではございますが来年からの活躍も楽しみに応援しています。

(T.H)

■発行日／2023年12月5日発行　■発行人／伊藤　明彦
■発行所／一般社団法人 熊本県歯科医師会
〒860-0863 熊本市中央区坪井2丁目4番15号
TEL／096-343-8020　FAX／096-343-0623
URL／https://www.kuma8020.com
■印刷所／コロニー印刷